

平成28年度第2回 日本一の健康長寿県構想安芸地域推進協議会概要

日時：平成29年2月23日（木） 18：30～19：50

場所：安芸総合庁舎 2階大会議室

参加者：委員（21名）

事務局（10名）

高知県（3名）

傍聴者（1名）

} 別途資料参照

1. 開会

所長挨拶

2. 議題（報告資料P1～P7）

(1) 安芸圏域における日本一の健康長寿県構想の推進について

ア 「安芸圏域アクションプラン」の平成28年度取組み報告及び平成29年度取組み

在宅医療、脳卒中【事務局より説明】

糖尿病【部会長より説明】

イ 歯科保健対策【事務局より説明】

働き盛りの健康づくり【協議会長より説明】

(2) 各委員からの報告

【安芸郡医師会】

- ・災害医療研修を4回開催
- ・安芸郡医師会の各地区（安芸、中芸、芸東）での講演会等 19回開催
- ・H28年8月開院の室戸岬診療所への協力
- ・高知県東部への看護学校設立について
平成31年の春開校予定

【県立あき総合病院】

- ・新病院になって3年目となっている。救急医療に重点をおいて取り組んでいる。
- ・常勤の医師が35名。昨年常勤の麻酔医が着任したことで緊急手術対応ができるようになった。
- ・脳外科の常勤医も2年前からおり、脳外科関連の病気も（圏域の）3分の1を受けているが、まだ3分の2の受入ができていないので、今後、力を入れていきたい。また、がんについても、がん難民を無くすよう力を入れていく予定であり、大学病院と連携してがん患者の治療やフォローに取り組みたい。

【安芸・室戸歯科医師会】

- ・歯科医師会としては、80歳になっても20本の歯を残すというスローガンのもと取組みを行っている。
- ・歯を失う原因は、歯槽膿漏、歯周病が一番でむし歯、歯の欠け、割れと続く。予防のためにはフッ素が効果的。高齢者は、口腔機能の衰えが出てくるので、機能向上のためのトレーニングが必要。
- ・高齢の寝たきりの方への、在宅訪問治療に力を入れていく。相談窓口があるが、受け入れ態勢の課題もあり、相談件数があまりない状況であるので、バックアップし充実を図っていきたい。
- ・人材についての課題もあり、歯科衛生士、歯科技工士の人材が不足している状況である。

【薬剤師会安芸支部】

- ・市町村と連携し、地域ケア会議にアドバイザーとして参加している。
- ・主治医等と連携し、在宅支援、在宅服薬指導を進めたいと思っている。
- ・災害薬事コーディネーターとして県から委嘱されている。今年度は、安芸市と県の合同の災害時医療救護活動訓練があり、多くの課題が見つかったので、検討していきたい。
- ・学校薬剤師としての役割

【看護協会室戸・安芸地区支部】

- ・大きく3つの取組みを実施。
 - ①町の保健室：室戸市、安芸市、芸西村の健康フェスタ等のイベントに参加。住民との触れ合いを通して生の声を聴く機会を持っている。
 - ②災害に関する取組みとして安芸市の災害医療救護訓練に参加。それに先立ち、看護師の研修としてスタートトリアージと二次トリアージの研修講師の派遣。また、地域災害ナースの研修を室戸市で実施。今後、東部の色々な地域で実施する予定。
 - ③高齢者および認知症支援のための看護職連携構築モデル事業（日本看護協会の助成事業）を実施し、東部地域における看護職（保健師も含む）の顔の見える関係づくりや課題の共有や解決策について検討を行った。

【介護支援専門員連絡協議会東部ブロック】

- ・ケアマネジャーの課題は、①介護サービス計画がきちんと立てられない、②記録管理ができていない、③医療との連携が図れていないことがあげられるが、少しでも資質向上という形で研修をし、地域のケアマネジャーの力を上げることを目的に、「課題整理総括表」の研修会を5回実施した。うち2回、群馬県前橋市の主任ケアマネジャーを講師に招いて事例を使った研修会を行った。また、指導者のいない地域等のケアマネジャーについて、東部ブロック全体で支えることにし、個別のフォローアップ研修を終業後に行っている。
- ・医療と介護の連携については、安芸福祉保健所から説明があったが、退院の調整ルール作りに取り組んでおり、それに関連して、新人のケアマネジャーの視点に立ってアドバイスができるよう、

地域の主任ケアマネジャーが新任のケアマネジャーを支えるためのフォローアップに取り組んでいる。

- ・地域全体でケアマネジャーの質があがるような研修を企画していきたい。

【安芸広域社会福祉協議会】

- ・各市町村社協がそれぞれレベルアップするような勉強会等、また広域社協で取り組む方が実益的であろうリーダー研修を事業として取り組んでいる。

(実施した研修)

介護予防研修、傾聴ボランティア養成講座、災害対策研修（段ボールを使っての避難所運営体験）
職員向けの認知症予防等研修会、県の第2期地域福祉計画説明

【東部ブロック民生委員児童委員連絡協議会】

- ・民生委員という立場は、非常に複雑になっており、生活保護の支援だけでなく、子どもから大人、高齢者と多岐にわたって課題がある。高齢者については、経験値で相談ができるが、子どもについては、非常に複雑なため研修が大事ということで研修に取り組んでいる。

今年度は、「人をつなぐ地域をつなぐ民生委員児童委員」と題して、玉里先生（高知大）を講師に開催した。県外の研修も参加している。

- ・課題ができたことを各関係機関の方につなげるという役目なので、皆様のご協力をいただきながら運営していく。

【安芸地区食生活改善推進協議会】

- ・幼児から高齢者まで食を通した健康づくりを推進しているボランティア団体。
- ・平成28年度の活動（抜粋）

《日本食生活協会事業》

高齢者対象の「生涯骨太クッキング」テキストを使用し、100歳体操グループ等の高齢者の方と学習したり、料理を作ったりして事業の推進をしている。

親子の食育指導（安芸市子育て支援のなかよし広場、公民館単位の子供会等）

《生活習慣病予防減塩推進スキルアップ事業》

《地域食育推進事業 学校推進活動》

安芸市内小学校2年生：朝ごはんをつくろうをテーマに参観日に実施

安芸市内小学校6年生：お弁当をつくろう、安芸の郷土料理等のテーマで調理実習

「しっかり食べて元気いっぱい」のテキストで講話

中学生：魚料理をテーマにあじを三枚におろす学習等

《安芸地区合同研修会》

栄養士を講師に招き、年4回開催

【安芸地区健康づくり婦人会連合会】

・健康で活力ある地域づくりを目指して、健康づくりは幸せづくりという言葉をもとに、関係機関と連携を密にしながら、県のめざす日本一の健康長寿県構想に沿った健康長寿社会の実現に向けた地域づくりに組織をあげて運動を展開している。

①特定健診やがん検診の重要性を認識し早期発見、早期治療を目指して、各地域で啓発パレード、個別訪問、電話等で受診勧奨に取り組んでいる。

たばこの及ぼす影響の告知、禁煙、分煙運動、歯周病が生活習慣病であるという認識を持ち健康な歯や口を保つことの大切さなどを伝えている。

②結核撲滅運動の一環として、複十字シール募金を行っている。

・課題としては、受診してほしい年代の働き盛りの層の方の受診率が低い。今後も県、市町村、各関係機関と連携を持ちながら、目指す目的に向かって努力していきたい。

【安芸市（在宅医療・介護連携推進プロジェクト会議の取組）】

・平成26年度から取組みをしたゆたかな看取り総合支援事業から移行し、地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業の取組みを進めている。

・市民への普及啓発として、弁護士等による終活講座の開催、医療、介護関係者への研修として、口腔ケアシンポジウムの開催等を実施した。

・第3回看取りフォーラムは、医療、介護、行政関係者が劇団を結成し、練習を重ね、人生の最期の迎えかたについて、寸劇でわかりやすく説明した。250名の参加があり大盛況であった。

3. 閉会